



[写真上] 昨年11月の「GO! GO! 日野町記念祭」ステージ。  
[写真下] この人だかり! 初めに交通規制も行いました。

## 宇都宮商店街めぐり 第12回

日野町商店街振興組合

# 「イベント活動に力を入れ、 商店街連携で活性化を」

宇都宮で一番古い商店街と言われる、日野町。そんな歴史ある商店街は、毎年さまざまなイベントで活気あふれる街づくりを行っています。

日野町を歩くと、子どもの頃からある店、会社数が数多く残っていることに、改めて驚かされます。

もちろん店の構えなどは変化していませんし、街路も98年(平成10)に現在の形になりましたから、昔とはずいぶん違います。それでも(宮っ子)の多くは、日野町を歩くと、何がしかの懐かしさを感じるのではないのでしょうか。

「店舗の数は、あまり多くない。その点は中心市街地の他商店街さんと違う点で

しょうね」と高橋信夫理事長。「小売だけでなく問屋、サービス業などが多い街です」とのこと。それが逆に、長く続いている理由の一つでしょう。

高橋理事長以下、役員のおくは30代〜50代。その若さが、日野町の活発さを生み出しています。数年前から月1回(第4日曜日午後)行っている「ひのまちルネッサンス」は、大道芸やライブ演奏などで、いつも大人気です。昨年11月には、餃子祭りに合わせて「GO! G

O! 日野町記念祭」を

開催。現在の振興組合の前身「日野町商店会」の発足から55周年を迎えたことを記念して、ライブやパフォーマンス、販売などを行ったところ、大盛況でした。

また屋台横丁や他商店街と協力し、手巻寿司やロールケーキの長さに挑戦もしました。40メートルの手巻寿司から始まって、翌年はオリオンスクエアまでの長さのロールケーキを作



日野町商店街振興組合  
理事長 高橋 信夫 さん

製。さらに昨年5月にはユニオン通りまで続く約1キロの長さのロールケーキを、みごと完成させました。

こうした若々しいアイデアが次々に出てくるところが、日野町のおもしろさでしょう。

「今年は、餃子祭りなどのイベントにあわせ、より充実した楽しさをご提供したいと思っています。期待してください」

歴史ある街を舞台に、新しいチャレンジ——日野町の(元氣)からは、目が離せません。

